

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年3月30日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年3月30日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【運転日誌における2号機および3号機の原子炉注水系(炉心スプレイ系)注水流量の計器変更忘れについて】 2号機および3号機の運転日誌の原子炉注水系(炉心スプレイ系)注水ラインの注水流量データにおいて、復水貯蔵タンク炉注系運転時の計器で採取すべきところ、高台炉注系運転時の計器で採取していた。 運転日誌には、高台炉注系運転時の計器のデータを記入していたが、監視していたデータは、正規の計器であり、実施計画で要求される必要流量は確保されていた。また、原子炉圧力容器の温度にも有意な変動がないことを確認。 今後、再発防止対策を検討予定。</p>	GⅢ	3月25日
2	<p>【増設雑固体廃棄物焼却設備における電源供給設備の容量見直しについて】 増設雑固体廃棄物焼却設備の設計・建設を進めていたが、詳細評価をしたところ想定最大使用電力が、当初の想定を上回ることが判明した。 原因は、想定最大使用電力を計算する時に、使用する数値を誤ったと思われる。 今回の問題点の更なる深掘り検討を行い、今後の電源設計にあたっては反省事項を踏まえ、電源供給設備の設計検討を行う仕組みを再構築する。</p>	GⅢ	3月25日
3	<p>【物揚げ場前道路における車両接触によるゲート損傷について】 正門から作業場所に向かう途中、5/6号機正門付近の渋滞を回避するため、物揚げ場前の道路にて車両の切り返しをした際に車両後方がゲートに接触した。 今後、再発防止対策を検討予定。</p>	GⅢ	3月24日